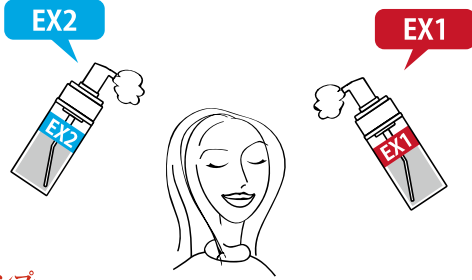


ストレートパーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライのあと毛髪診断します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

新生毛やクセが取れにくい部分は EX1 を塗布します。

前処理剤を塗布後ハーフドライします。

EX1 または EX2 を頭皮に塗布すると 1H の刺激を緩和します。

2



●1剤 1H 塗布

毛髪診断に基づいて 1H を塗布します。

根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

根元ギリギリに 1H を塗布しても根元が折れることはありません。

※ 1H が頭皮に付かないように注意してください。

毛先が超ハイダメージの場合は EX4 または EX1(原液) を塗布します。

塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

●放置または加温

放置時間は10～15分が目安です。 ※オーバータイム厳禁

10分以上放置しても軟化不足の場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック ●中間水洗

3



●中間処理 髪質改善

タオルドライ後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

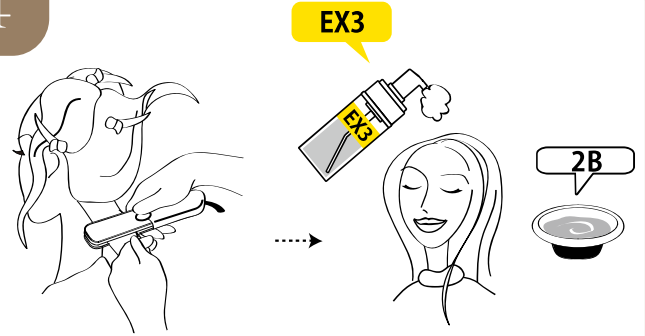
ダメージ補修効果がアップします。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4



完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。

ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

※ヘアアイロン用のオイルやローションは2剤(酸化剤)の働きを妨げるので絶対に使用しないでください。

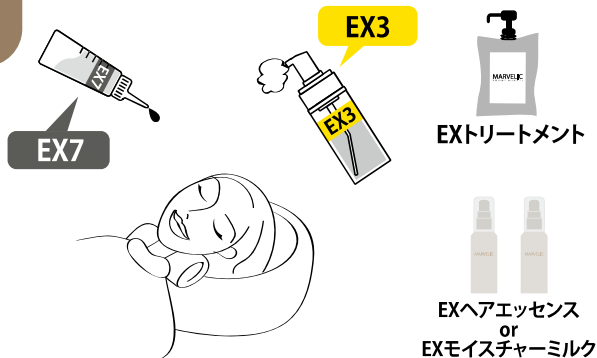
●酸リンス EX3 2剤 2B 塗布

EX3 を塗布しハーフドライの後 2B を塗布。 7分+7分放置

2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、

EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

工程 1 で前処理を行うとクオリティーが更にアップ!!

◆施術例

前処理でクセが取れにくい部分に EX1(原液) を塗布し5分加温するとダメージレスでクセが取りやすくなります。

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライするとダメージ補修効果がアップします。

※チオ系の1剤を使用する場合

チオ系の1剤に EX4 を10～20%添加すると硬さやパサつきがなくなります。

動画マニュアルをご参照ください。

